

みどりの風

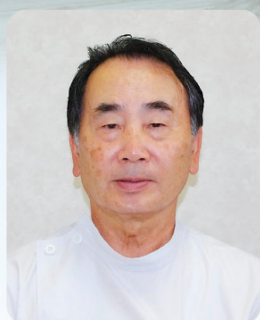


医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
 URL <http://midori.jp.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌発行委員会

第29号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さんこんにちは。

初夏に入り、あたりの田圃は満々とたたえた水面の早苗が強い日射しのもと、ぐんぐん成育しております。

先日は、今年発足した法人の釣り同好会行事に参加し、淡路島・福良湾の生簀の海釣りで、又、午後は鳴門の遊覧船による観潮で久しぶりのんびりとした海を眺めた楽しい1日を過ごしました。

小生、以前はダイビングをしていたので、磯の香りと波の押しは返すうねりを見ると故郷に戻ったような安堵感を覚えます。

さて、国会では、今まさに消費税・増税案が、その通過如何の審議のピークに達しております。

国の財政の逼迫した中で支出面の行政改革で歳出削減を計ることと、消費税増税による歳入増は共に明白な財政改善の柱ですが、民主党の約束した歳出減の政策の不透明な中での増税案はなかなか我々国民の理解し難いことであります。

又、医療機関にあっては、最終消費者でない中間業者として増税で支払っている消費税の実体は消費税そのもの

の税体制根幹に低触するものと言わざるを得ません。

民主主義が成熟するとこのように何も進まない、何も決定できない政策になっていくのか、これが真の平和な社会体制なのか、我々国民が真剣に考えねばならない時期であると思われます。

私共の新病院建設はお蔭様で12月1日オープンに向かって順調に進んでおります。そのハード面の進行とともに、如何に地域医療に貢献できる良き病院作りが出来るか、そのソフト面の体制作りが目下懸命に努力している状態です。

刷新を図り、未来の夢と希望をかねえた病院が完成しますよう、まずは従事する職員の人づくりを第一の目標にかかげ頑張ってもらいます。

人は一人では生きていけません、社会の集団の中にいると時々孤独が必要な時があります。又、年齢が増すと今までの貴重な経験を若い世代に伝導する社会的義務も生じます。

小生も毎日・毎日の決して戻らない時間を大切に軸足のブレない人生の

目標をしっかりとってまいり

たいと考えております。

松樹会予算理事会・評議員会開催

いこいの里 施設長代理 高杉 孝博

去る5月24日(木)、藤阪ビル2階に於いて社会福祉法人松樹会の理事会並びに評議員会が開催されました。本年度からは新役員が加わった体制で、主に平成23年度の事業報告や収支決算の報告を中心に審議が行われた結果、全議案とも満場一致で可決承認されました。

又、本会の後半では、今後枚方市における介護保険サービスの適切な供給量から判断された施設整備計画の説明や、姉妹法人における新病院のオープンに向けた進捗状況などの話題提供が行われました。新病院につきましては年末の開院を予定しておりますが、詳細が決まり次第、ご案内を随時実施したいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。



新「中村病院」12月開院にむけて

院長代理 高橋 輝

完成予想パース



- JR長尾駅前に建設中の新病院は順調に工事が進んでおり、地上4階の外観が垣間見えるようになってきました。
- 既存の中村病院と中村記念病院を統合して206床の新「中村病院」として平成24年12月1日に開院する予定です。
- 2次救急病院としての急性期病棟に加え、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟の3つの機能を有する病院となります。中村記念病院は回復期リハビリ専門病院として、周辺の病院より高い評価を頂いておりませんが、新病院では急性期医療の機能を併せ持つことで、治療継続が必要な早期の段階よりリハビリテーションに取り組むことが可能になります。
- また、今年10月には整形外科医2名を新たに採用することが決まり、整形外科診療が飛躍的に充実したものになります。



新病院建築中（南西から）



鉄骨組み立て起工式



新病院建設中（北側から）

設備面では新たにMRIを設置するとともに、手術室を2室整備します。うち1室は整形外科での人工関節術にも対応できるクリーン度の高い手術室とします。これにより、白内障などの眼科手術と並行して外科や整形外科の手術が可能になるなど臨機応変に対応できるようになります。



新OP室イメージ

- 主な診療科は、内科、糖尿病内科、循環器内科、消化器内科、外科、整形外科、呼吸器外科、眼科、泌尿器科、心療内科、放射線科、リハビリテーション科を予定しています。当院だけでは対応できない病態も当然ありますが、急性期だけの基幹病院ではできない回復期医療も含めた地域の窓口となるような病院にしたいと考えています。つまり、入院診療の入口となる初期救急から在宅復帰への出口となる回復期医療を総合的に提供することが当院の地域での役割と考えております。
- 真新しい病院設備に負けないよう、診療体制の充実を図って参りますので、今後とも当院の活動にご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

薬学部6年制実務実習受け入れ

薬剤本部長 岡田 順子



実習生を交えたカンファレンス

薬学部が4年制から6年制に移行し、5回生で2.5ヶ月の病院実務実習が平成22年から開始されました。

実習生の受け入れできる病院は、認定実務実習指導薬剤師のいる受け入れ認定施設に限られています。当院は大学病院のような設備はありませんが、チーム医療が自慢の病院として、実習開始当初から毎年4名の実習生を受け入れています。医師、看護師、薬剤師その他関係部署が一丸となって2.5ヶ月を一緒に勉強し、学生と共に薬剤部スタッフも様々な経験をし、成長してきていると実感しています。

現在の中村病院（創立33年）にとって最後の実習生を5月から2名受入れており、狭い施設で頑張っています。新病院は調剤室も広く設備も充実しているので薬剤師の更なる成長を期待して、今後は受け入れ人数も増やしていこうと考えております。

短時間通所リハビリテーションの現状

リハビリテーション科 課長代理 山田 浄明

当施設では、今年の2月より「短時間通所リハビリテーション」が新たに開始され、4ヶ月が経過しました。

開始当初、定員10名枠で10名未満だった登録数も現在は18名の登録数に増加し、1日5、6名のペースで利用していただいております。

短時間リハビリは既存の通所リハビリとは違い、お食事・入浴サービスはございませんが（送迎サービスは行ないます）、月曜～土曜の13時～15時の間で、専門性を高めた個別リハビリテーションのみを目的としたサービスを提供しています。

現在ご利用いただいている方の中でも、リハビリだけがしたいという目的で「短時間通所リハビリ」のみを利用される方や、既存の長時間の通所リハビリと併用されて、今までよりリハビリの回数を増加され利用されている方も来られています。

新しいサービスを開始することで、利用者様が選択して利用していただけるようになってきていると思われます。

今後は、時間帯や定員の枠を広げて、利用者様一人ひとりのニーズにあったサービス提供が可能となるように努力していきます。



在宅部門

利用者様との絆を育む

グループホームたんぽぽ長尾 管理者 片山 二美子



グループホームたんぽぽ長尾は、9名の少人数の利用者様と共に、家庭的な雰囲気の中で一人ひとりにあった支援をさせて頂いております。

365日、24時間、支援させて頂く中では、笑いあり、喧嘩あり、涙ありの毎日です。

新しく入居される方は、環境の変化もあり大きな不安を抱いてたんぽぽに入所されます。

入所当所は、利用者様も職員もどう関わって良いか解らず、少しでも早く生活に馴染んで頂こうと多くの声かけを行う様にしております。

逆に、利用者様を不穏にさせたり、何を話しても口も聞いてもらえなかったり、「帰る。」と言って、外に出ていかれ

部屋に入ることすらして頂けなかった利用者様が、毎日の生活の中で職員一人ひとり思いやりのある支援で、笑顔が見られたり、感謝の気持ちを伝えられたりされた時、利用者様との絆が育まれたような気持ちになります。

たんぽぽでは、これからも職員一同思いやりのある支援を心がけて行き、素敵な大家族を目指していきます。



枚方市地域包括支援センターみどり

高齢者が安心して暮らし続けるために

社会福祉士 岡 久美子

枚方市でも高齢化率が20%を超えており、今年度は「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」を基本理念に掲げ実現を目指しています。

その取り組みの1つとして、「高齢者の見守りネットワーク作り」構築の為、新聞販売店、コンビニエンスストア、薬局店など協力依頼に店舗を訪問しております。この取り組みは、認知症・虚弱高齢者などで対応・支援の必要な方の早期発見に繋げていこうというもので、協力店は徐々に拡大してきております。

地域包括支援センターみどりでは、家庭での介護力を高めることに着目し、家族介護教室開催に力を入れています。第1回目は、ベッド上での介助方法、第2回目は着脱介助と口腔ケアを実習形式で行いました。参加者の殆んどが、実際に介護をされている方々で熱心に講義に参加していました。今後も継続して実施していき、介護力の向上や、同じ悩みを持った者同士が集まり、話ができる事で、悩みの解消につながるのではないかと考えています。

住み慣れた地域で、高齢者が安心して暮らし続けるために、今後もお手伝いをしていきたいと考えています。



つくしんぼCafe 開店一周年

ケアハウスつくしんぼ長尾 事務長代理 井 上 朝 夫

毎月1回開催している好評の『つくしんぼカフェ』は、6月で満1歳になりました。

カフェ開店のきっかけは、昨年2月に行った入居者様アンケートで「談話スペースでコーヒーなどが飲みたい」との多くの声にお応えしてのこと。加えて、喫茶を楽しみながら入居者様同士の語らいが、また家族様や地域の方々とのコミュニケーションをも図れる場の提供ができればとの思いで始めました。

喫茶開催に当たっては、その都度、カフェの飾り作りを入居者様にお手伝いいただき、華やかな雰囲気にしていただいています。

また、喫茶だけでなく、毎回ボランティアによる様々な

催しを觀賞していただいておりますが、今後は、入居者様にも日頃の各種クラブ活動の発表の場としてご利用いただけたらと考えています。そしてまた、なお一層地域に根ざした高齢者施設として近隣にお住まいの高齢者や民生委員、福祉委員などの方々にも気軽にカフェに来店していただき、地域交流の場としてご利用いただければ幸いです。

カフェ開店日には、職員一同心よりお待ちしております。お気軽にお越し下さい。



ボウリング大会開催 ～ストライクの連続に大きな歓声！～

親和会 会長 篠 原 健 悟

平成24年度親和会年間活動計画は新役員の皆さんと協議し決定しております。スタートとなる恒例のボウリング大会を6月16日(土)・30日(土)の二日間、両日とも100名を超える参加者のもと「Round1」にて開催いたしました。

中村猛理事長の始球式にはじまり、各レーンではストライクのたびに歓声がこだまし、賑やかに楽しくゲームができました。

ゲーム終了後は、場所を「焼肉五苑」に移し、しゃぶしゃぶ料理を堪能しました。また、上位入賞者の表彰を行うとともに、多くの皆さんにいろいろな景品を渡せるよう工夫したことから、会場は盛り上がり、参加者の笑顔があふれていました。

今後は日帰り旅行や忘年会など行事を計画してまいります。会員の皆様に喜んでいただけるよう役員一同無い知恵をしぼり、頑張っております。これからの行事にも多くの皆さんの参加をお願いいたします。



釣 り 同 好 会

釣り同好会 幹事 梶 河 英 司



本年度に「釣り同好会」が発足し、はじめてのイベントを6月9日(土)淡路島「淡路じゃのひれフィッシングパーク」で行いました。

心配していた天気も晴れ渡り、33名の方が集まり釣り大会を開催しました。

釣り堀を囲んだ大会でしたので、参加者の方々が次々と魚を釣り上げ、計測のため私たち幹事は、右に左にいかだの上を走り回っておりました。

釣れた魚はタイやシマアジだけでなく、カンパチを釣り上げた参加者もいて、大いに盛り上がりました。

お昼は海を見ながらのバーベキューを開催し、釣り大会で釣った魚を刺身していただきました。

今回の釣り大会の優勝は、44センチのタイを釣り上げた家族参加の男の子で、最後に理事長よりトロフィーが授与されました。

参加者の方々には、釣り上げた魚を持ち帰る事が出来て、幹事としてはホッとしております。

次回のイベントにも、参加者の方々が喜んで頂ける企画をしておりますので、お楽しみに。

各施設連絡先

社会福祉法人 松 樹 会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 グループホーム たんぽぽ田口 072-898-2193
 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
 つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190
 つくしんぼ藤阪 072-868-2191
 たんぽぽ藤阪 072-868-2197

医療法人 み ど り 会

中 村 病 院 072-868-2071
 地 域 医 療 相 談 室 072-868-2070
 中 村 記 念 病 院 072-868-2070
 な ご み の 里 072-868-2072
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 サテライトなごみの里 072-818-2071
 デイサービス長尾の里
 た ん ぽ ぽ 長 尾 072-868-2195
 訪問看護ステーション 072-868-2071
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 枚方市地域包括支援センター みどり 072-845-2002
 み ど り 保 育 所 072-850-7550

—— 編 集 後 記 ——

新病院建設も順調に進んでおり、実行委員会を中心にハードと運営の両面で議論を重ねながら開設に向かって全力を挙げて取り組んでいる所です。又、法人の親睦会組織「親和会」の3大行事がスタートし、同好会も新規に発足した釣り同好会の魚釣り大会も行われ、仕事を離れて親睦、交流を深める活動も親和会役員の皆さんの努力と実行力で定着してきております。

これから梅雨も明けて暑い夏がやってきますが体力強化し乗り切って行きたいものです。

みどりの風発行委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松 田